

令和5年度
「地域に根ざした家庭教育支援推進事業」
のまとめ



令和6年1月

目 次

令和5年度「地域に根ざした家庭教育支援推進事業」

○ 「地域に根ざした家庭教育支援推進事業」実施要項	1
○ 令和5年度「地区拡大家庭教育推進協議会」の概要	2
○ 令和5年度 優良家庭教育推進組織等一覧	3
○ 尾張地区「拡大家庭教育推進協議会」の報告	4
○ 海部地区「拡大家庭教育推進協議会」の報告	6
○ 知多地区「拡大家庭教育推進協議会」の報告	8
○ 西三河地区「拡大家庭教育推進協議会」の報告	10
○ 東三河地区「拡大家庭教育推進協議会」の報告	12
○ 新城設楽地区「拡大家庭教育推進協議会」の報告	14



「地域に根ざした家庭教育支援推進事業」実施要項

1 趣 旨

家庭教育支援に関わる者及び行政関係者（以下「家庭教育関係者」という。）の市町村を越えた情報交換をととして、家庭教育関係者の資質向上を図るとともに、優れた活動を推進している組織等を顕彰することにより、地域におけるきめ細かな家庭教育支援活動を充実させる。

2 事業内容

(1) 地区家庭教育推進協議会の設置

ア 目的

家庭教育関係者による市町村を越えた情報交換や、地域におけるきめ細かな教育支援の方策について検討をすることで、地域での家庭教育支援活動の具体的な推進に資する。

イ 設置場所

尾張、海部、知多、西三河、東三河、新城設楽の6地区を所管する各教育事務所・支所に設置する。

ウ 所掌事項

あいちの学び推進課の指導、助言のもと次の事項を行う。

（ア）各市町村の家庭教育の現状及び支援活動に関わる情報交換や協議

（イ）地域におけるきめ細かな家庭教育支援の具体的・実践的な方策の検討

エ 委員

市町村の家庭教育支援に関わる行政関係者、子育てネットワーカー等の子育て支援者、あるいは子育てサークル代表者を含む家庭教育関係者をもって構成する。

オ 内容

（ア）年3回程度の協議会を開催する。

（イ）上記の内1回は、委員のみならず地域の家庭教育関係者への参加を促した拡大地区家庭教育推進協議会とし、家庭教育に関わるテーマを基にしたグループワークによる情報交換を実施する。

※ 実施にあたっては、市町村や地域の家庭教育推進事業の実践の紹介を含めるなど、地域の特性や実情に応じて内容を工夫する。

カ 庶務

各教育事務所・支所において処理する。

(2) 優良家庭教育推進組織等の顕彰

ア 目的

地域においてきめ細かな家庭教育支援活動を継続して実施し、成果を上げている組織等を顕彰することで、家庭教育振興に関わる地域活動の一層の充実・拡大を図る。

イ その他

顕彰の詳細については、「優良家庭教育推進組織等顕彰事業実施要項」に基づく。

(3) 「『地域に根ざした家庭教育支援推進事業』のまとめ」の作成

今後の活動の参考とするため、地区家庭教育推進協議会の協議内容や優良家庭教育推進組織等の顕彰の記録を集録し、事業のまとめとする。

附 則

この要項は、平成30年4月1日から適用する。

附 則

この要項は、令和5年4月1日から適用する。

令和5年度 地区拡大家庭教育推進協議会の概要

地区	日時・会場	概 要	グループ協議テーマ	参加者数
尾張	9月15日(金) 13:30～15:55 三の丸庁舎	開会行事、表彰 ＜優良家庭教育推進組織＞ 特定非営利活動法人 あいちかすがいっこ (春日井市) 実践活動発表 春日井市 グループ協議、情報交換等 指導助言 閉会行事	①市町家庭教育担当者としての家庭教育の推進 ②子育て情報の提供方法 ③小・中・高生への子育て支援 ④忙しいママへの子育て支援	53
海部	11月10日(金) 13:30～16:20 あま市甚目寺公民館	開会行事、表彰 ＜優良家庭教育推進組織＞ あま市レクリエーション指導者クラブ(あま市) 実践活動発表 あま市レクリエーション指導者クラブ 「子育てEXPO」(12の団体がブースで活動発表) 意見交換 指導助言 閉会行事	つながりあい まなびあい ささえあう 家庭教育支援 ～海部地区「子育てEXP O」でコラボレーション～	120
知多	11月22日(水) 10:00～12:00 大府市立横根公民館	開会行事、表彰 ＜優良家庭教育推進組織＞ 子育て支援サークル あそびのいっぽ(大府市) 東中スクールサポーター(東浦町) ミニ講演 「気持ちのバトンがつながったとき」 子育てネットワーカー 大橋 房代 氏 グループ協議 指導助言 閉会行事	家庭教育支援を必要としている人に支援を届けるには	39
西三河	9月29日(金) 14:00～16:30 西三河総合庁舎	開会行事、表彰 ＜優良家庭教育推進組織＞ 六ツ美南部学区家庭教育推進協議会(岡崎市) NPO法人高浜南部まちづくり協議会(高浜市) 実践活動発表 ・碧南市おやじの会連絡会(碧南市) ・黒笹小学校区家庭教育推進協議会 テーマ別協議会、情報交換 ・グループでの情報交換会 ・全体でのシェアリング 指導助言 閉会行事	①家庭教育支援者の人材確保・活用について ②家庭教育支援を行き届かせるための工夫や課題について ③PTA活動・CS(コミュニティ・スクール)の課題について	71
東三河	11月22日(水) 13:20～16:10 豊川市勤労福祉会館	開会行事、表彰 ＜優良家庭教育推進組織＞ 東中おやじの会(豊川市) 講演 「思春期における家庭教育」 豊川市立代田中学校長 立川 恵理 氏 グループ協議 全体会 指導助言 閉会行事	家庭教育支援の在り方について	44
新城・設楽	11月9日(木) 13:30～16:00 とよね文化広場村民ホール	開会行事、表彰 ＜優良家庭教育推進組織＞ 豊根村地域学校協働活動本部 実践活動発表 豊根村地域学校協働活動本部 グループ協議・情報交換会 指導助言 閉会行事	これからの家庭教育で私たちができること	21

合計 348名

令和5年度 優良家庭教育推進組織等一覧

地区	被表彰組織	実践活動テーマ	表彰日
尾張	特定非営利活動法人 あいちかすがいっこ	～地域を巻き込みみんなで子育て～ 春日井市が目指すこどもまん中社会	9/15 (金)
海部	あま市レクリエーション指導者クラブ	あそべない子どもたちのために	11/10 (金)
知多	子育て支援サークル あそびのいっぽ	子育て家庭の支援と居場所づくり	11/22 (水)
	東中スクールサポーター	東中生と東中PTAを支え、育てよう	
西三河	六ツ美南部学区家庭教育推進協議会	学校・家庭・地域が共に寄り添い、心の通い合う六ツ南学区	9/29 (金)
	NPO法人 高浜南部まちづくり協議会	すべての住民がともに支え合い、ふれあいのあ る心豊かな地域共生によるまちづくり	
東三河	東中おやじの会	PTA・教員・おやじの会による「三位一体」 ～「おやじは黙って背中を見せろ」～	11/22 (水)
新城・設楽	豊根村地域学校協働本部	豊かに根ざす村！地域・家庭・学校をつなごう	11/9 (木)

尾張地区「拡大家庭教育推進協議会」

I 概要

- 1 日時 令和5年9月15日（金）午後1時30分～午後3時55分
- 2 会場 愛知県三の丸庁舎大会議室
- 3 参加者
 - ・協議会委員 15名
 - ・協議会委員以外の参加者 38名
（市町家庭教育担当者17名、家庭教育推進関係者14名、
尾張教育事務所職員7名） 合計53名

II 日程・内容

- 1 開会行事 午後1時30分～午後1時45分
優良家庭教育推進組織等顕彰
（特定非営利活動法人 あいちかすがいっこ）
- 2 春日井市の家庭教育に関わる活動紹介【基調発表】
午後1時45分～午後2時5分

令和の子育て～家庭教育とは？～



春日井市を代表して、「NPO法人あいちかすがいっこ」の方に発表していただきました。春日井市を軸とした家庭教育の在り方についてお話しいただき、市全体で子育て支援に取り組む様子がしっかり伝わってきました。

参加者からも「参考にした」という声が多く聞かれました。



- 3 グループ協議・情報交換等 午後2時10分～午後3時40分
4分科会8グループの意見（抜粋）（⑧はグループ数）



市町家庭教育担当者としての家庭教育の推進について②

- ・行政内の各課との連携を深めていくことが必要。
- 「家庭教育」の範囲が大きいので、非常に連携が難しい。各課が何を担当しているのか各市町で把握していくことが課題。
- ・支援を必要としている方々への周知方法を工夫しなければならない。
- SNS での配信など、保護者が情報を入手しやすい手段で配信する。学校と連携して、学校で利用している情報伝達手段を使用する。

子育て情報の提供方法②

～すべてのママに必要な情報を届けるには～

- ・子育て世代が毎日使うツールを活用する。
- SNS やスマホアプリ等で配信していく。しかし、紙媒体の方が有効な場合（ICT 機器が不得意）もあるため、電子・紙の両媒体で配信をすることが大切。
- ・市町だけで抱え込まず子育て支援団体と連携を図っていく。
- 子育てアプリなどは更新等、変化がなければ見なくなってしまう。子育て支援団体と連携することにより、最新ニュースを提供し続ける。

小・中・高生への子育て支援②

～思春期の子どもとの関わり方～

- ・親だけで抱え込まず、様々な大人と関わり合える場を設けることが大切。
- 思春期は、親のルールから離れていき、家庭の価値観と自分の価値観に相違が生まれる。そのため、親だけで何とかしようとするのではなく、地域ボランティアへの参加・習い事での先生との関わり・オンラインコミュニティ（危険性もある）・子どもカフェ等、様々な大人と連携を図り関わり合いながら視野を広めていくことが大切。

忙しいママへの子育て支援②

～パパの子育てへの関わり方など～

- ・子育て家庭対象に専門家講師による講座を開催する。
- 忙しく開催の情報に目が向かないことが課題。土日開催、託児サービス等、参加者が集中できる環境を宣伝していくことが大切。
- ・母親が安定するための情報を提供する。
- 父親の育児参加、託児へのハードルを低くする、一人で抱え込まない（子どもは社会全体で育てるもの）など、母親の子育てへの意識を変化させるはたらきかけをする。

4 閉会行事

午後 3 時 45 分～午後 3 時 55 分

Ⅲ 課題や今後の取組について

グループ協議のテーマについては、会長との事前打ち合わせの際に、大テーマを「子育て」とした。第 1 回尾張地区家庭教育推進協議会の場で、大テーマ「子育て」について、グループで協議したいテーマを募り、その後、どのテーマの分科会に参加したいかの希望もとって、全員が第 1 希望の分科会に参加できるようにした。これは、自分がどのテーマで話すのか、参加者へ事前に意識付けることもねらっている。当日の会長による基調発表を、「子育て」について春日井市の取組の紹介としたため、その結果、話したいことが明確になり、どのグループでも活発な協議が行われていた。アンケートにも、今回の会で他市町の子育ての活動について情報交換ができたことに満足する声が多く寄せられた。

今回のグループ協議の成功は、会長による見通しをもったグループ協議を充実させるための方策が素晴らしかったためである。家庭教育は範囲がとても広いために、実りある協議をしてもらうためにはある程度分野をしばることが必要である。大テーマ「子育て」の決定→子育てにまつわる「基調発表」→自分が情報を得たい、発信したいグループの事前認知、のプロセスにより、参加者がこの会で何をしたいか明確になった状態で参加できたことが活発なグループ協議となった要因であると考えられる。

大変お忙しい中、せっかく時間をつくって参加してくださっているのだから、これからも、参加者の立場になり、会長地区と連絡を密にし、実のある協議会となるよう執り進めていきたい。

海部地区「拡大家庭教育推進協議会」

I 概要

- 1 日時 令和5年11月10日（金）午後1時30分～午後4時20分
- 2 会場 あま市甚目寺公民館
- 3 参加者 協議会委員（16名）
協議会委員以外の参加者（52名）
飛島村教育委員会教育長（1名）、海部地区小中学校長会長（1名）、
海部地区PTA連絡協議会長（1名）、津島市PTA連合会長（1名）、
県教育委員会関係者（5人）、
市町村子育て福祉関係部課（4名）、市町村子育て支援団体（22名）、
市町村PTA代表者（12名）、優良家庭教育推進組織（2名）、
あま市教育委員会生涯学習課（3名）

II 日程・内容

- 1 開会行事 午後1時30分～午後1時50分
優良家庭教育推進組織等顕彰

あま市レクリエーション指導者クラブは旧美和町時代、公民館講座『レクリエーション百科』を学んだ子ども好きの有志が地元地域の健全育成支援を目的に『美和っ子遊び塾』を立ち上げ開始し、合併に伴い『あまっ子遊び環境塾』と改称し活動を行っています。現在は創立時からのメンバーが多く、豊富な社会経験を積んだ主婦や幼児教育、小学校教育、大学教育、福祉現場などに携わった方々が、バラエティーに富み、意欲に満ちあふれ、地域貢献に生きがいを見出して、プログラムの企画・展開・運営に努力しています。

- 2 事例発表 午後1時50分～午後2時5分

地域で長年続く活動をとおして、子どもや保護者を巻き込んだ取組を数多く紹介をしていただきました。

子どもたちの成長は、クラブのスタッフの感動を支えています。今後も子どもたちや地域の人々と共に学ぶことに感謝し、

「まだ、やれることがあるかも？」

「もっと、やれることがあるかも？」

と思いながら、「焦らず、慌てず、ほどほどに！」をモットーに活動を続けていきます。

- 3 協議会 午後2時10分～午後4時5分

つながりあい まなびあい ささえあう 家庭教育支援
～海部地区「子育てEXPO」でコラボレーション～

- (1) 海部地区「子育てEXPO」前後半に分けて実施

家庭教育支援を「本当に必要としている家庭に届けるためにも、家庭教育・社会教育・学校教育の教育、子ども・子育て支援に係る福祉、そして、市民活動団体に携わる者が交流を図ることにより、新たな気づきや連携につなげ、市町村の枠を越えた取組が大切であると考えています。

【子育てEXPOの様子】



今回の出会いから、他団体と一緒に活動をする
ことになりました。



展示あり、体験あり、実演あり、工夫いっぱい
のブース展示でした。



地域としての横のつな
がりは、大変重要だと感
じました。



様々な視点から交流が
でき、活動の視野を広げ
ることができました。

昨年度作成した「令和5年度海部地区家庭教育支援・子育て支援関係団体データバンク」ですが、56団体の登録となりました。そのうちの12団体が、日頃の活動を紹介するブースを出展しました。団体同士、団体と教育・福祉行政関係者が、時に真剣に語り合い、時に笑顔で和気あいあいと交流を図りながら、互いの家庭教育支援活動・子育て支援活動を知り、活動者同士の横のつながりを目指した顔のつながる情報交換を行いました。

(2) 意見交換

4 指導助言 午後4時5分～午後4時15分

愛知県教育委員会あいちの学び推進課主査より、本会への高評をいただきました。参加者からは、「高評もこの会の価値を高める大変素敵な話でした」と、拡大家庭教育推進会を閉める素晴らしいご助言をいただきました。

5 閉会行事 午後4時15分～午後4時20分

Ⅲ 課題や今後の取組について

団体の活動について、より広く啓発したり、交流したりすべきだとの声がありました。団体の出展数や来場者数の拡充（一般開放も含む）を図ることで、交流の幅が広がり、活動してみたい人と活動している人をつなぐ場にもなれば、より充実した会になるとも思われます。

今後の協議会では、「子育てEXPO」の実践を継続・拡充することを検討していきます。

また、行政（社会教育担当課）と行政（子育て支援担当課）、民間と行政のつながりが、今後必要になってくると考えます。「子育てEXPO」のさらなる発展のためにも、どのような手だてを講じれば、皆を巻き込んで、つなげていくことができるのかについても、検討をしていきたいと思います。

知多地区「拡大家庭教育推進協議会」

I 概要

- 1 日 時 令和5年11月22日（水）午前10時00分～正午
- 2 会 場 大府市立横根公民館
- 3 参加者 ・協議会委員 24名
・協議会委員以外の参加者 15名 （行政関係者3名、子育て支援団体5名、子育てネットワーカー7名）

II 日程・内容

- 1 開会行事 午前10時～午前10時15分
優良家庭教育推進組織等顕彰

◇ 子育て支援サークル あそびのいっぽ （大府市）

子育てネットワーカーなど11名が、子どもの健やかな成長と子育て中の親の支援を目的として活動している。特に食品支援の活動にあたっては、子ども食堂とは異なり、支援を受けていることを他人に知られたくないという気持ちに配慮するとともに、各家庭の悩みに耳を傾け、孤立することのないように支えている。



◇ 東中スクールサポーター（東浦町）

平成22年に東浦中学校PTA役員のOB・OGが中心となって組織された。活動をとおして、生徒のサポーターや地域の方への挨拶、家庭での会話も増えつつある。また、毎年少しずつ増えているサポーターの活動・交流は、保護者同士のつながりを深めるだけでなく、地域のつながりへと広がっているように感じている。

- 2 ミニ講演 午前10時20分～午前11時

「気持ちのバトンがつながったとき」子育てネットワーカー 大橋 房代 様



＜参加者の声（アンケートより抜粋）＞

- ・あそびのいっぽさんの取組がよく分かりました。本町でも似た様なことを取り組んでいると感じたが、遊びに連れて行くことまでは、なかなかできることでないと感じた。サークルを継続していくためにメンバーがどの様に構成されてどの様な方が集まっているかを知りたい。
- ・大橋さんのお話、とても良かったです。温かい人柄があふれていました。とても参考になりました。

3 グループ協議 午前11時～午前11時40分

「家庭教育支援を必要としている人に支援を届けるには」
＜協議後のグループ発表より＞

- ・様々な支援があることを発信しているが、連絡がこない。情報をもつ人たちが連携し、情報共有ができるとよい。
- ・縦割りの行政が課題。活動内容や対象児の年齢、家庭の状況によって担当課が違う。横のつながりを持ち、連携して活動できるとよい。



- ・親は自分の物はなかなか買えないので、親への支援は大切である。支援を必要とする人をどう見つけていくかが課題。
- ・不登校も増えているが、不登校に対する考え方も変わってきている。今の時代に合わせたサポートが必要。そして、支援をする側も楽しく支援していきたい。

＜参加者の声（アンケートより抜粋）＞

- ・はじめての参加でしたがそれぞれの地域で子育て支援に取り組んでいる様子が理解できました。
- ・豊かな経験と想いをもった方と交流できて嬉しい。しかしながら、自分だけがこんなに豊かな機会を得ているのはもったいない！子育て世代の方に還元したい。
- ・地域の子供たち、それを支えている保護者の方々への支援を真剣に考えているグループ、人々がいることを嬉しく、また頼もしく感じました。勉強にもなりますが、気持ち良く前向きな意見交換ができたことが一番良いと思います。
- ・コミュニティの会長さんと同じグループでお話を聞くことができました。地域に信頼できる大人がいるということは、子供にとっても親にとっても安心して生活できることだと感じました。衣食住が安心できることの上に家庭教育があるように思います。信頼できる大人のまねをすることも小さい人たちにとって大切な学びの機会であると思いました。
- ・グループ協議は、とても良い人数と組み合わせと感じたが、もっと話し合いたかった。テーマも良かった。

4 指導講評 午前11時40分～午前11時50分

5 開会行事 午前11時50分～正午

Ⅲ 成果と課題

協議のテーマに沿ったミニ講演を行い、協議が活発に行えるようにした。アンケートから、ミニ講演がとても参考になったとの声が多くあった。また、グループ協議については、参考になったという意見もあったが、もっと人数を増やし多様な人々と協議したい、協議の時間を長くしてほしいという意見もあった。来年度の課題とし、子育て支援活動をされている方々の参考になる、そして連携を深めることのできる会にしていきたい。

西三河地区「拡大家庭教育推進協議会」

I 概要

- 1 日 時 令和5年9月29日（金）午後2時00分～午後4時30分
- 2 会 場 西三河総合庁舎10F大会議室
- 3 参加者 ・協議会委員 21名
・協議会以外の参加者 50名（子育てネットワーカー7名、家庭教育・子育て支援者9名、行政関係者8名、学校関係者4名、PTA等保護者22名） 合計71名

II 日程・内容

- 1 開会行事 午後2時～午後2時10分
優良家庭教育推進組織等顕彰



【顕彰式】

六ツ美南部学区家庭教育推進協議会（岡崎市）

現役世代と定年を迎えた世代とが手を携え、持続可能なまちづくりへの模索を進めるなか、学校・家庭・地域が連携し、子供を中心に据えた学区の結びつきを目指している。

NPO法人高浜南部まちづくり協議会（高浜市）

地域安全活動、介護予防事業、子供の健全育成事業、チャレンジドに対して自立支援事業を行うことで住民相互の連帯感と自治意識の向上を図り、安らぎとふれあいのある心豊かな地域共生によるまちづくりの推進に寄与している。

- 2 実践活動発表 午後2時10分～午後2時40分

碧南市おやじの会連絡会（碧南市）

親子の絆を大切にしたい親子・家庭参加型の事業を計画し、父親が自信をもって子育てに参画できる社会にしていきたいと考え、①木工パズルづくり研修会、②ピザ窯づくり研修会、③「みんなあつまれ どんぐりまつり」の開催などを紹介していただいた。

黒笹小学校区家庭教育推進協議会

この組織は、PTA役員を中心に、民生児童委員、人権擁護委員、主任児童委員、児童厚生員、青少年補導員、本校教職員などで構成され、家庭・地域・学校での連携を深めている。その中で、学校支援ボランティアとの協働や「黒小にこにこウィーク」、家庭・地域の力でつくり上げる学校行事などを紹介していただいた。



【実践活動発表】

3 テーマ別協議会 午後3時～午後4時25分

テーマ① ～人材確保・人材活用の問題を中心に～ 「家庭教育支援をしていただく方をどのように確保し、どのように活用していくか。」 A班：常勤で働く人が増えたこともあり、人材が確保しづらい。幅広く募集をかけることが大切。また、支援者が短い時間でも活躍できるような工夫が必要になる。 B班：人材を確保するには、目的、やること、期間を絞って募集することが大切である。また、支援者が高齢化しているため、世代交代ができるようなシステムを工夫することが必要。 C班：人材確保をするためには、資金源が必要。そのために、市の力を借りる必要がある。保護者だけが支援者だと、定期的に人材を確保できない。高齢者、知り合い等、幅広くつながりから人材確保が必要。
テーマ② ～各団体の取組の課題を中心に～ 「家庭教育支援を行き届かせるための工夫について」 D班：活動詳細が分かる情報発信が課題。「子ども」「親」双方に、情報発信の拡充が大切だと考える。 E班：父親にも子育てに参加してほしい。父親は、遊びをとおして一緒に係ることが大切である。また、子育てに悩んでいるが、外に出られない人への支援が大切である。その方たちが、興味をもてるような講座等を開く必要がある。 F班：子育て支援を必要としている方が孤立しないよう、見守る必要がある。また、人とのつながりの中で、心地よい空間、子どもの成長の場を見つけてもらえるようにする。
テーマ③ ～PTA活動・CS（コミュニティ・スクール）の課題を中心に～ 「家庭・地域・学校がどのように連携し支援活動をしていくとよいか。」 G班：学校、PTA、地域が一体となって支援活動をするのが大切だが、地域となかなか関われない。 H班：CSについて、あまり周知されていない。もっと情報を提供する必要がある。中学生の支援活動がとても助かる。 I班：コロナ期に、学校と地域との連携がなくなった。再度連携をするために、リーダーとなって活動してくれる人材が必要。 J班：公民館と中学生がつながったのは、効果があった。学校ボランティアをもっと募集していきたい。 K班：PTA組織の簡素化が今後必要になる。 L班：PTA加入率が低くなってきている。

4 閉会行事 午後4時25分～午後4時30分

Ⅲ 課題や今後の取組について

昨年度と同様に、拡大家推協に参加を呼びかける際には、予めテーマを示し、興味のあるテーマのグループ協議に参加をしていただいた。大きなテーマであったが、どのグループも活発に意見交換ができていた。

今後の課題としては、PTAの方が多いいこともあったが、PTA加入率が悪くなっていることや、PTA役員になりたい方が少ないことが課題として挙がった。課題解決のため、今後も議論を続けていくことが大切だと感じた。

東三河地区 家庭教育を考える会 「拡大家庭教育推進協議会」

I 概 要

- 1 日 時 令和5年11月22日（水）午後1時20分から午後4時10分
- 2 会 場 豊川市勤労福祉会館（大研修ホール）
- 3 参加者 ・ 44 人
・ 来賓、講師、助言者3人 ・ 協議会委員19人
・ 顕彰団体代表者2人
・ 協議会委員以外の参加者20人（教育行政関係者11人、ボランティア団体1人、NPO法人1人、施設園長1人、小中学校PTA6人）

II 日程・内容

- 1 開会行事 午後1時20分から午後1時40分まで
優良家庭教育推進組織等顕彰
東中おやじの会（豊川市：豊川市立東部中学校）



東中おやじの会は、「PTA・教員・おやじの会による三位一体」をテーマとして平成22年より活動を行っています。当時の東部中は荒れており、「地域で力を合わせ、東部中を支えよう」との思いからスタートしました。今では70人を超える会員が在籍し、挨拶運動や防災学習会、働く人に学ぶ会の講師など、さまざまな面で東部中生を支えています。

- 2 講演 午後1時45分から午後2時15分まで
「思春期における家庭教育」

豊川市立代田中学校長 立川 恵理 様



子どもは、思春期に課題を乗り越え大きく成長していきます。失敗から学ぶことも多く、失敗は成長のチャンスと言えます。「自分で考え」、「自分の言葉で表現し」、「協力」できるように温かく見守っていきましょう。

また、地域としては、学校や家庭以外の子どもの居場所作りや、悩める親が相談できる関係づくりなどをおして、親の「心のよりどころ」となるように心がけていきたいものです。

3 「グループ協議・全体会」 ＜テーマ＞

午後 2 時 15 分から午後 4 時 5 分まで

家庭教育支援の在り方について



グループ協議

事前に家庭教育支援についての質問・疑問を集約してグループ分けを行い、5グループに分かれグループ協議を行いました。



A グループ

子どもをいろいろな角度から見ていくことが大切。体験的に学ばせる余裕も必要。その中で認めて、ほめていくことを重視したい。

B グループ

相談窓口を民間にもつなげていき、東三河全体で対応できるようにしたい。お互いの事業についてもっと詳しく知るべき。

C グループ

不登校の理由はさまざまで家庭の状況をしっかり理解して対応したい。教育と福祉の連携で、少しでも保護者の負担を軽くしたい。

D グループ

相談機関は予約でいっぱいの状態。しかし、その子どもを理解して、保護者と一緒に問題点について考えることが大切である。

E グループ

行政の横の連携を強化するなどの方策で、相談者が気持ちよく相談できるようにして、親の孤立を防ぎたい。まずは相談窓口に来てもらうための努力が必要。

全体会ではグループごとに協議された内容を共有しました。

【参加者の声】

- ・立川先生の基調提案は、納得することがたくさんありました。
- ・今日出された意見や気づきを地元で多くの人に伝えていくことが大切だと思いました。
- ・相談の窓口を明確にし、横の連携を図るなどのサポート体制づくりが大切だと感じました。

4 閉会行事 午後 4 時 5 分から午後 4 時 10 分まで

Ⅲ 今後の取組について

基調提案では、講師の立川校長から、家庭教育について分かりやすく話していただき、参加者の家庭教育についての理解が深まった。また、グループ協議では、関心のあるテーマごとにグループを組んだこともあり、熱心に話し合いが行われた。

一方で、テーマが「家庭教育支援について」という大きなものであったことから、一部で話がかみ合わなかった部分も見られた。次年度もグループ協議を行いたいと考えるが、テーマの分野をもう少し絞って、そのテーマに沿って参加者を募ることも考えたい。

新城設楽地区「拡大家庭教育推進協議会」 地域で子どもを育むための交流会

I 概要

- 1 日 時 令和5年11月9日（木）午後1時30分～午後4時
- 2 会 場 とよね文化広場村民ホール
- 3 参加者 ・協議会委員 12名
・協議会以外の参加者9名
（家庭教育・子育て支援者3名、行政関係者 2名、学校関係者2名、PTA等保護者1名、社会教育委員1名）合計21名

II 日程・内容

- 1 開会行事 午後1時30分～午後1時45分
優良家庭教育推進組織等顕彰



【顕彰式】

優良家庭教育推進等組織
「豊根村地域学校協働本部」

地域未来塾の運営や地域の職業紹介、保護者や地域の方との軟式野球大会など、地域総ぐるみで村の子どもたちの豊かな心を育てている。また、その活動は保護者を支える取組になっている。

- 2 実践活動発表 午後1時45分～午後2時20分



【実践活動発表】



【質問をする参加者】

「豊かに根ざす村！地域・家庭・学校をつなごう」と題し、豊根村地域学校協働本部の取組について発表していただいた。「豊かに根ざす村とともに本気になって取り組む生徒」を育てるための様々な活動が紹介された。オンライン寺子屋についてなど、参加者から多くの質問があり、関心をもって発表を聞いていただいたことが分かった。地域で子どもを育てていくことのよさを実感する内容であった。

4 グループ協議、情報交換会 午後 2 時30分～午後 3 時45分

<テーマ>

これからの家庭教育で私たちができること

=グループワークで出た意見=

グループ A

仕事や家事が忙しく、母親が手一杯だと、子育てを楽しむ余裕がなく、家庭にこもりがちになる。情報があっても自分で動けず、自分が困っていることも分からない。相談しやすい関係づくりをしていくことが大事。子どもが自分の好きなことができる場所、安心できる場をつくることで、親も安定するのではないかな。



【グループワークの様子】

グループ B

少子高齢化によって伝統行事が減って、地域や人との関わりが少なくなっているが、お祭りなど小さい単位のネットワークは存続させていくのが大事。

豊根村の取組のように地域を離れていく次の世代にも地元の仕事やふるさとに意識を向ける働きかけが大切だと思った。



【グループワークの報告】

グループ C

子どもが習い事などで忙しく、下校後に友達と遊ぶ時間が減っていたり、家庭で経験することが少なくなったりすることで、コミュニケーションが消極的になりがち。身近な大人や地域での交流が増えれば、コミュニケーション能力も自然と高まるのではないかな。

グループ D

親も子もスマホを見ている時間が長い。人とのコミュニケーションは、スマホやゲームでは学べない。顔を突き合わせて話す場が必要。しつけや家庭教育の方針も多様化している。それぞれの価値観を認め合いながら、感性豊かな子どもを育てていきたい。

5 指導講評 午後 3 時45分～午後 4 時

6 閉会行事 午後 4 時

Ⅲ 課題や今後の取組について

「地域で子どもを育てることの大切さを実感した」「大人が助け合って地域を盛り上げることで、家庭教育を底上げするという言葉が心に残った」「共感できることがたくさんあり、改めて大切にしたいことを再確認できた」などの感想があった。今後もそれぞれの立場でできることを考え、今日の学びを多くの人に伝えていただくようお願いした。今後もより多くの保護者に参加してもらえるような体制をつくり、地域、保護者、学校が家庭教育について情報共有し、一丸となって取り組めるようにしていきたい。



令和5年度

「地域に根ざした家庭教育支援推進事業」のまとめ

令和6年1月発行

愛知県教育委員会あいちの学び推進課

〒460-8534 名古屋市中区三の丸三丁目1番2号

電話 052-954-6780（ダイヤルイン）

ファックス 052-954-6962